

## 茅野市立永明小学校の6年生への感想

〔児童の皆様へ〕

- 残飯をたい肥にしている会社があることを初めて知りました。残飯を減らすべきだという教えは私も受けてきており、残飯はそのままごみになってしまうから地球に良くない、もったいないと思っていました。たしかにそれは事実で、残飯がないに越したことはありませんが、残飯をリサイクルすることもできると知り、SDGsについて理解が深まりました。残飯を減らすよう呼びかけることも効果的でとても良い活動だと思いました。
- ダンボールコンポストで食品ロスを減らす取り組みに挑戦しているところが良いと思いました。実際に実践することで新たな発見をし、また、野菜くずは減ったけど残食が減っていないことに気づき、全校へ呼びかけに転じた所も食品ロスを減らすためのすごく良い対策だなと感じました。
- とっても楽しくて分かりやすい物語の映像でした。残食を減らすために、自分たちで行うだけでなく、全校に呼びかけみんなで活動していることが凄いいなと思いました。映像から、すごく仲の良いクラスということが伝わってきました。その団結力も組み合わせさせて、残食を減らすことが出来たのだと思います！
- どうしても出してしまう残食を肥料として活用できることに注目して肥料の作り方を学びに行き、実際にやってみるという一貫した行動ができていて素晴らしいと思います。また、ちょっとした工夫で野菜くずを減らすことはできるけど、残食は減らせないことに気付いて、行動を起こして周りの行動を変えようという経験ができたことはこれから先に役立つことだったと思います。
- 給食の残飯が多いということから、それを肥料にする過程を深掘りしたことがすごいと感じました。残飯を肥料にする会社があることは知っていても中々見えないので、良い着眼点だと感じました。実際にどのくらいの時間が掛かったのか、何を基準に肥料になったと言えるのか、などいくつか気になることもありました。作った肥料を使って美味しい野菜を育ててくださいね。
- 発表が工夫されていて、動画にしたり劇のようにしたりしていて、とても聞きやすかった。給食から食品ロスに関して調べたことがとても良いと思った。残飯をたい肥として利用することで食品ロスが減っても、残食が減らないという問題に立ち戻って残食を減らすことに取り組み、成果が出ていたことがすごいと思った。また、自分たちで実際にたい肥を作り、野菜を育てていた。取り組みの中で、1つ課題を解決したら次の取り組みを行うというように、取り組みが連鎖していたところが良いと思った。
- 残食のことについて劇になっていたり、スライドを用いて説明したりしていて、とても分かりやすかったです。ダンボールコンポストを実際に作ってみることが実践的な体験になっていてとても良かったです。食べ物を無駄にしていない工夫を調べていて良かったです。また、コンポストを作った終了ではなく、全校の皆さんに残食を減らす呼び掛けをしようと考えた事が素晴らしいと思いました。
- とってもみんなの元気が伝わってきて分かりやすい動画でした。給食では残食が問題になりやすいと思うので、そこに着目したのはとてもいいと思いました。残食が肥料になったらゴミが再利用できるということがとても良いと思います。残食を減らす方法は他にもあるのではないかとも思うので、みんなは小学校を卒業してしましますが、これからも永明小学校の残食が減るように後輩たちに学んだことを伝えてもらえたら良いですし、中学校に上がっても給食があると思うので残食が少なくなるように今回学

んだことを生かしてもらえたら良いです。素敵な発表をありがとうございました。

- 給食という他の小中学生にも大きくかわる分野の話を読んだ方法を使って、低学年の人たちにも伝えやすくなっていったと思います。また、残食が出てしまうことは給食を食べたことのある人は知っていると思いますが、その後どうなるのかを知らない人も多いと思うので、そのような意味でも非常に役に立つ活動だと思いました。
- 皆さんの発表を聴いて、給食を作るときに残った野菜かすが肥料のもとになっていることを初めて知りました。また、その肥料を使って違う野菜を作るとするのは環境にとってもいいことだと思いました。これからは残食をできるだけなくしながら、おいしい給食を味わって食べてほしいです。すばらしい発表をありがとうございました！
- ダンボールコンポストでたい肥を作るだけでなく、その肥料を使って野菜を作ってみることもして、とても良い取り組みだと思いました。残食を減らすための呼びかけでどれくらい残食が減ったかという結果も調べていて良いと思いました。
- 食品ロスは非常に大きな問題ですね。私の小学校での頃を思い出しながら発表を聞いていました。食品ロスは小学校に多いが、スーパーなどコンビニの食品ロスには比べてものにならないのが悲しいことだと思います。また、山ノ内南小学校3年生と非常に似た内容の発表でした。それは、「もったいない」から自分の周りを見ることである。とても面白い発表でした。
- 私は高校の探究の授業で、コンポストを作ったことがあります。その時は長期間かけて実験することが難しかったので、満足のものができるわけではありませんでした。だから、肥料作りで終わらず、栽培までしている点が本当にすごいなと感じました。
- 食品ロスをなくすという事からコンポストを一から作り、さらに残飯を減らすという課題から全校への呼びかけをしていた点が良いと思いました。特に、全校を対象とした自分達の身近なところから問題を発見し、課題解決をしていた点が大切だと考えさせられました。コンポストを作る際に一番苦労した点などを知りたいなと思いました食品ロスをなくすために、余った部分などを肥料にするという活動が面白いと感じた。給食やごはんに対する意識改善を行うといった方法だけではなく、「食べられないがまだ使うことができる」といった食材を活用する考え方は、今後役に立つと思う。
- 博士の劇で導入として興味を惹きつける工夫がとても良いと感じた。劇の中の内容も具体的な理解に繋がりやすい文言が多く、考えのきっかけになると感じた。また、食品ロスという、現代日本で大きな問題となっていることを取り上げていて、自分ごととして考えられる良いものだと思った。次の内容に繋げて考えている点も持続可能な社会の考えにもっとも必要なものでとても良いと思った。
- 残食がどうなっているのかという疑問から実際に工場に行ったりと学びを深めている姿が印象的でした。ダンボールコンポストという言葉は初めて聞き、家でも取り組みそうなことだなと思いました。私たちにできることを少しずつ取り組んでいくことが大切ですね。

〔教職員の皆様へ〕

- 学校の残食から段ボールで作れる肥料について学んでいくという流れが劇でよく伝わりました。全校の意識改革によって学校給食の残食を減らすことができたという実績は素晴らしいものだと思います。肥料をもとに野菜を育てるという取り組みも、食べ物を無駄にしないという意識を育てる良いものだと感じました。
- 食品ロスが社会的な問題としてある中、自分たちにもっとも身近な給食に目をつけて、給食ロスを減らそうという取り組みは素晴らしいと思います。給食を作る過程で出てくる生ゴミを肥料にするやり方を学んで、それを実践し、自分たちの力でできることが実感することで子どもたち自身の生活の中でも取り込んでいこうとする気持ちが育まれるのではないかと思います。今後は食品をつくる過程のゴミではなく、残食はどのように活用できるのか私も調べていきたいと感じました。